

19. 歯内療法

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従うことができる
- ・ ステップ毎に報告できる
- ・ 必要器材を的確に準備できる
- ・ 局所麻酔のための準備ができる
- ・ ラバーダム防湿を行える
- ・ 一連のバキューム操作を的確に行える
- ・ 抜髄のアシストが的確に行える
- ・ 仮封材を正しく鍊和できる

<設定場面>

50歳女性の患者。急性化膿性歯髄炎の診断のもと、右下6の抜髄を行う。

<治療手順>

1. 患者の誘導と説明

歯科医師：患者の誘導を指示する。

助手：患者をチェアに誘導し、処置内容を説明する。

2. 麻酔 必要器材：麻酔針、注射器、麻酔剤、基本セット(ピンセット、デ ンタルミラー、ピンセット)

衛生士：麻酔セットの準備と補助を行う。

歯科医師：麻酔を行う。

3. ラバーダム防湿 必要器材：ラバーダムシート、ラバーダムパンチ、ク ランプ、フォーセップス

衛生士：麻酔の奏功を待ってラバーダム防湿を行う。

4. う窩の開拡 必要器材：タービン、タービン用バー

歯科医師：高速切削でう窩を開拡する。

衛生士：バキューム操作をする。

5. 天蓋の除去と歯髄腔の清掃 必要器材：エンジン、エンジン用バー、う蝕検知薬、根管清掃剤、オキシドール、ルートキャナルシリンジ
歯科医師：う蝕検知液を使い軟化象牙質を完全に除去し、除去できた段階で、歯・ラバーシートを含めてヨードで消毒する。

衛生士：う蝕検知液の洗浄とバキューム操作をする。

歯科医師：低速切削で天蓋を髄角部まで完全に除去し、髄室歯髄をエキスカベーターで取り除く。

衛生士：ルートキャナルシリンジに根管清掃剤を入れ手渡す。

歯科医師：髄質を洗浄・乾燥し、根管を確認する。

衛生士：バキューム操作をする。

6. 根管口の拡大 必要器材：ラルゴのリーマー
歯科医師：ラルゴのリーマーなどで根管口の漏斗上拡大をし、改めて髄室を洗浄・乾燥する。

衛生士：バキューム操作をする。

7. 抜髄 必要器材：抜髄針(ハーブドブローチ)、根管清掃剤
歯科医師：抜髄針を根管に挿入し、ねじって歯髄を除去する。

歯科医師：根管清掃剤を根管に満たし、洗浄する。ブローチ綿栓で根管を乾燥する。

8. 根管長の測定、根管の拡大と清掃 必要器材：根管探針(スームブローチ)、リーマーボックス(リーマー、ファイル、ヘッドストロームファイル)、根管長測定器、エンドメジャー
衛生士：患者の口角に対極をつける。

歯科医師：ストッパーのついた #15 のリーマーを根管に入れ、測定器のリードをつける。

歯科医師：リーマーを操作し、測定器の指示が魂胆を示すまですすめる。

歯科医師：根端の位置が確認できたらラバーストップを固定する。

歯科医師：ラバーストップと先端までの長さをエンドメジャーに移す。(作業長の確認)

衛生士：計測された長さをカルテに記録しておき、#15 以降のリーマー・ファイルのラバーストップをメジャーの値に合わせ、取りやすいようにセットする。

歯科医師：根管に根管清掃剤を満たし、オキシドールで汚物を流し出す。

衛生士：流れ出る清掃剤・オキシドールへのバキューム操作を行う。

歯科医師：根管拡大・根管形成が最終段階に近づいたら、リーマー・ファイルの長さを調節し、根端にアピカルシートを形成する。

衛生士：術者に指示に従ってリーマー・ファイルのストッパーの長さを調節する。

歯科医師：最終的な根管清掃を行う。

衛生士：清掃・オキシドールのバキューム操作をする。

9. 根管の消毒 必要器材：根管消毒用薬剤(FG)、ペーパーポイント

歯科医師：根管の吸湿・乾燥をブローチ綿花(ペーパーポイント)・軽いエアールで行う。

衛生士：窩洞吸湿用綿球・ブローチ綿球を用意する。

衛生士：貼薬用に仮封材の入るスペースを取った長さのブローチ綿花を根管においてくることができるよう緩く巻いて手渡す。(ペーパーポイントも乾

燥に使うものより短くし、先端が根端歯周組織に接触しないようにする)

衛生士：術者の持つ貼薬用綿花に根管消毒剤を付ける。(ペーパーポイントを使用する場合には乾燥したポイントをまず根管に挿入し、薬剤をピペット・ピンセットなどで滴下する)

歯科医師：貼薬用の綿花を根管に挿入し、綿球を窩洞に置く。

10. 仮封と防湿撤去 必要器材：仮封材、錬和紙、スパチュラ、咬合紙、咬合紙ホルダー、エタノール、ワッテ

衛生士：仮封材を錬和して術者の取りやすいように下顎角部に差し出す。

歯科医師：探針で仮封材を窩洞に運び、仮封を行う。

衛生士：左手で探針をアルコール綿花に受け取り、右手でピンセットにアルコール綿球を挟んで手渡す。

歯科医師：アルコール綿球で仮封材の表面を整え、ラバーダム防湿を外す。

歯科医師：咬合状態を確認して、患歯の安静を保つことができるようにする。

11. 術後の注意

衛生士：洗口を促して、次いで患者に本日の処置内容について説明し、術後の注意を説明する。

歯科医師：本日の診療終了を指示する。

12. 片付け

助手：診療後の使用器具の後片付けをする。

19. 歯内療法

必要器材

- ①麻酔針 ②注射器 ③麻酔剤 ④基本セット (ピンセット、デンタルミラー、
ピンセット) ⑤ラバーダムシート ⑥ラバーダムパンチ ⑦クランプ ⑧フ
ォーセップス ⑨タービン ⑩タービン用バー ⑪エンジン ⑫エンジン用バ
二 ⑬う蝕検知薬 ⑭根管清掃剤 ⑮オキシドール ⑯ルートキャナルシリ
ンジ ⑰ラルゴのリーマー ⑱抜髄針 ⑲根管探針 (スムーズブローチ) ⑳リ
ーマーボックス ㉑根管長測定器 ㉒エンドメジャー ㉓根管消毒用薬剤
(FG) ㉔ペーパーポイント ㉕仮封材 ㉖練和紙 ㉗スパチュラ ㉘エタノ
ール ㉙ワッテ ㉚咬合紙 ㉛咬合紙ホルダー